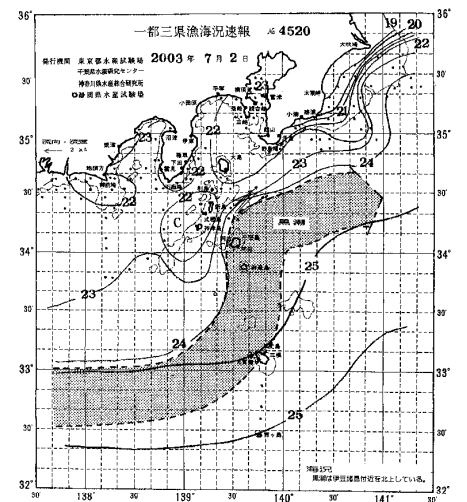


概況(図1, 表1)

6月30日~7月2日に千葉丸(317ト)で沿岸定線観測を行った。黒潮は石廊崎沖 32°50'N を東進し, 伊豆諸島海域を北上した後, 房総沖を東北東へ流れた。房総沖の離岸距離は「平年並」であった。流型はN型であった。



水温(表2, 図2・3・5)

海面では18~25, 100m深では13~20, 200m深では10~18であった。両海域の各観測層は概ね「平年並」で, 平年偏差では負の偏差であった。海面における平年偏差は, 野島崎と犬吠崎周辺では正の偏差であったが, 太東岬周辺では負の偏差であった。これは太東岬沖に小冷水域があったことが影響していると考えられる。

塩分(図4・5)

海面では34.0~34.5, 100m深では34.5~34.8, 200m深では34.3~34.8であった。降雨の影響により, 海面では先月より0.5程度低かった。野島崎南東定線では, 水深200~700m, 太東岬南東定線では, 水深300~700mに34.3以下の塩分極小層があった。

表1 房総沖の黒潮離岸距離(2003年7月)

基点	方向	距離(マイル)	階級
野島崎	南東	43	平年並
太東岬	南東	(54)	-
犬吠崎	南東	(47)	平年並

* (数字)は毎羊速報 平成15年第26・27号 (海上保安庁海洋情報部より)

表2 水温の評価(2003年7月)

水深(m)	外房海域			銚子・九十九里海域		
	水温	平年偏差	評価	水温	平年偏差	評価
0	22.3	-0.5	平年並	22.2	0.5	平年並
50	16.76	-1.28	平年並	18.32	-0.09	平年並
100	15.62	-0.27	平年並	14.67	-0.79	平年並
200	11.83	-0.72	平年並	10.94	-1.82	やや低め

*水温は各海域の評価点の平均値

流況(図1・2)

外房海域沖合では2ノットを超える東北東への流れを観測した。太東岬沿岸では, 反時計回りの流れを観測した。一方, 犬吠崎沿岸では, 時計回りに暖水が波及していると推定される。

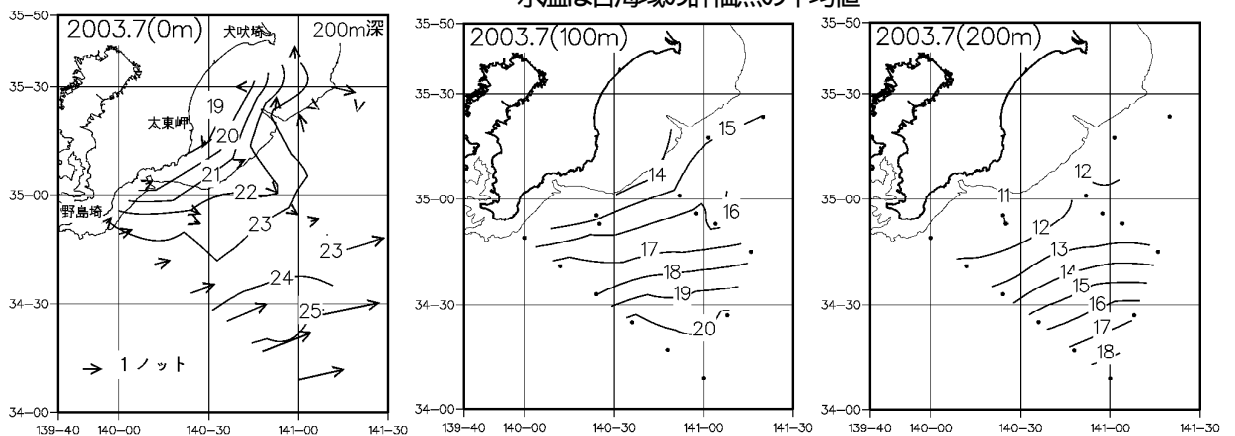


図2 水温と流向流速(5m深)の水平分布

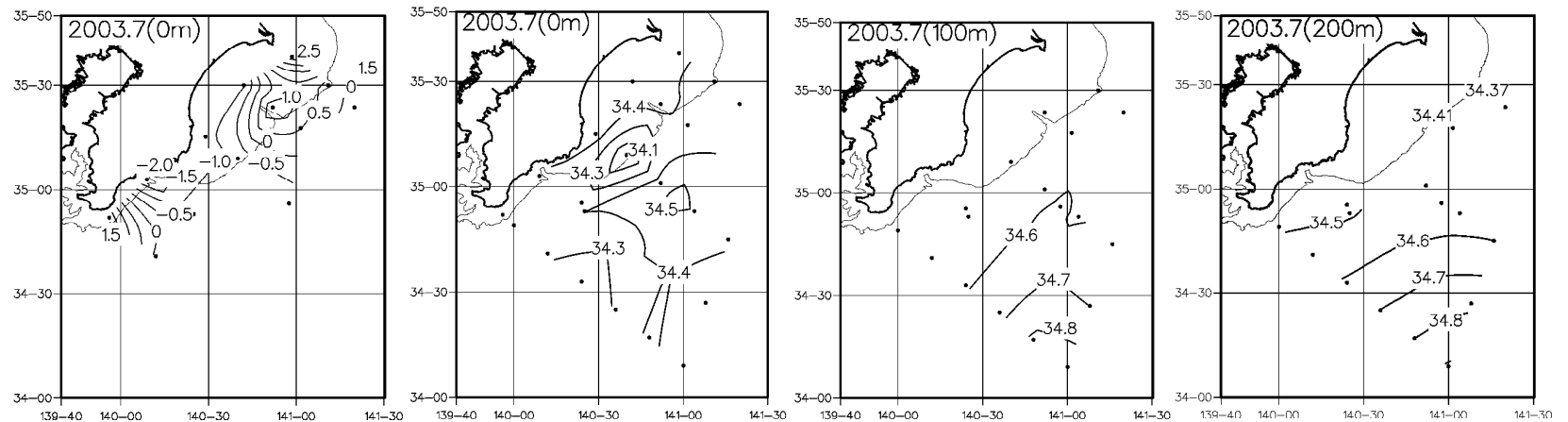


図3 水温の平年偏差

図4 塩分の水平分布

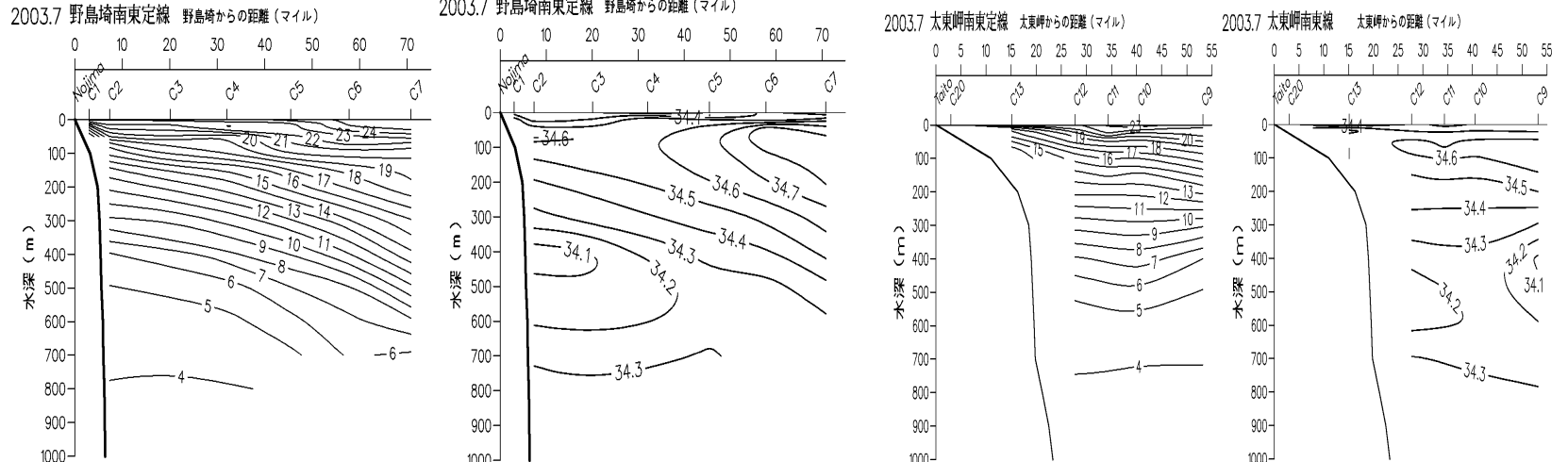


図5 水温と塩分の鉛直分布